

高島平緑地再整備方針（概要版）

第1章 高島平緑地再整備方針とは

新たな時代のニーズ及び区民ニーズに応えながら、上位計画である「高島平プロムナード基本構想」に掲げられた「みどり豊かな居場所」を具現化するための緑地の再整備方針を示した。



第2章 現状把握

全体方針を示すにあたり地域の状況、社会情勢、区民意識を分析し、得られた視点や課題を整理した。

高島平緑地の状況	社会情勢の変化	区民アンケート調査 滞在空間の造成実証実験
- 緑地のみどり、立地や周辺との関係性を整理 - 緑地の土地利用や公園内施設について整理	コロナ禍後の社会や都市公園のあり方分析 様々な社会ニーズに対応していく必要がある	- 住民の緑地利用率や用途要望等をアンケート - 緑地のポテンシャル調査のため実証試験実施

- 緑地には、高木から低木まで豊かなみどりが存在している。
- 一部で園路が途切れている箇所や樹木が繁茂して圧迫感がある。
- トイレやベンチ等は老朽化し、水景施設も稼働してない物がある。
- 国の掲げる「都市公園新時代」に向けた取り組みへの対応が求められる。
- ウォーカブル、ネイチャーポジティブ等の新たなニーズの取り込みが求められる。
- 利用率は低く、用途は通行が半数をしめる
- にぎわいを創出する滞留空間への要望が多い
- 区民自身による緑地管理等に参加意欲がある
- 実証実験には、家族連れを中心に地域外からも参加が多かった。

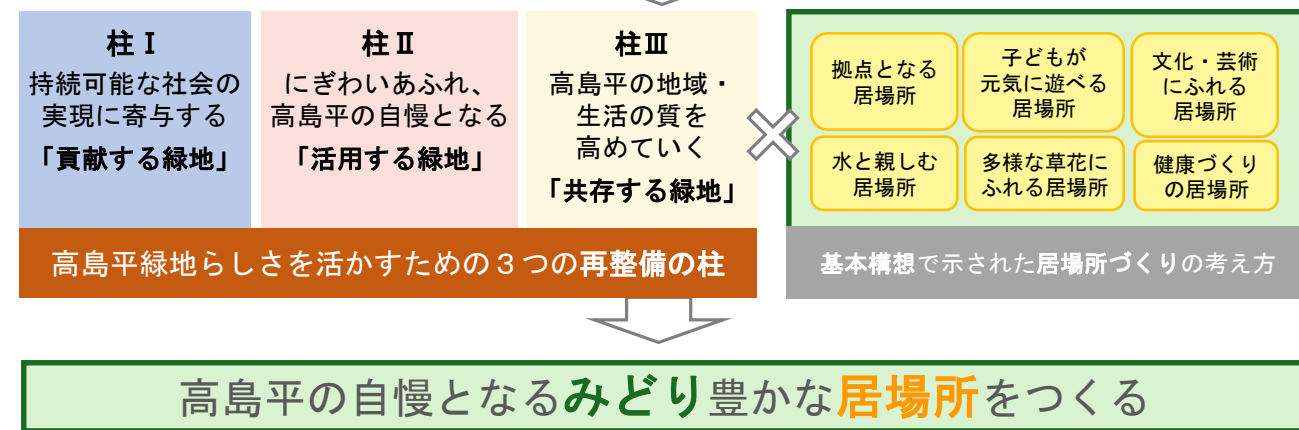
第3章 全体方針 / 第4章 ゾーン別の再整備方針

1 検討の流れ

第2章で整理した社会情勢、ニーズや現状把握の結果より、「高島平緑地らしさ」を整理するとともに、緑地における課題を抽出した。

これらを踏まえて、3つの「再整備の柱」を設定し、プロムナード基本構想で掲げている「みどり豊かな居場所」の実現のための方針を示した。

【高島平緑地らしさ】	【社会情勢に対応したみどり】
- 平坦な土地に広幅員で配された、豊かなみどりのボリューム - 約50年にわたり育まれてきた、豊かなみどりの質 - 地域住民との近接性から生まれた親近感（地域の庭）	- 自然を活用した社会課題の解決（グリーンインフラ、ネイチャーポジティブ） - 誰もが使える空間としての公園を使いこなす仕組みの構築（ルールの弾力化、社会実験の場） - 担い手と協働した安定的な管理運営（共創） - 居心地がよく歩きたくなる緑地（ウォーカブル）
【緑地の課題】	「みどり」：適度な明るさと緑陰空間整備、季節の植栽整備 「施設」：多様な居場所整備、老朽施設の改修、にぎわい促進 「人との関わり」：緑地に関わる人・企業連携、管理運営体制確立



2 6つの「居場所」と「みどり」

3つの「再整備の柱」の視点を反映した6つの「居場所」を実現すべく、課題に対応する3つ要素（「みどり」、「施設」、「人との関わり」）を居場所ごとに整理した。

また、高島平緑地の大きな魅力である「みどり」については、「居場所を彩るみどり」と「居場所を縁取るみどり」の2つの視点から「樹種」、「配植」、「維持・更新」について検討した。



6つの「居場所」と3つの「柱」

高島平緑地再整備方針（概要版）

第3章 全体方針 / 第4章 ゾーン別の再整備方針

3 3つの「再整備の柱」

柱Ⅰ 持続可能な社会の実現に
寄与する「貢献する緑地」

- ① 既存樹木を活かした緑陰空間の確保
- ② 100年先も活用できる緑地空間



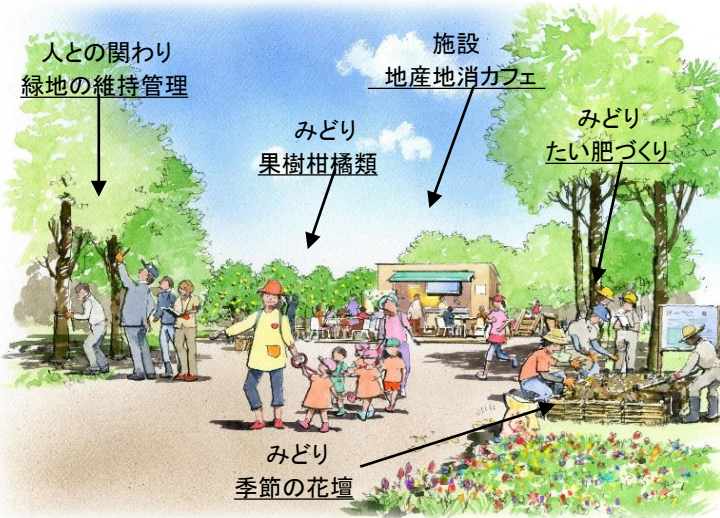
柱Ⅱ にぎわいあふれ、高島平の
自慢となる「活用する緑地」

- ① ホスピタリティの高い公園整備
- ② 区民や民間事業者の活力の積極的導入



柱Ⅲ 高島平の地域・生活の質を
高めていく「共存する緑地」

- ① 活動の場となる皆で育む緑地空間
- ② 周辺環境に馴染む緑地空間
- ③ 植栽監理の仕組みづくり



4 ゾーンごとの再整備方針

「みどり豊かな居場所」の実現に向けて、高島平緑地を6つのゾーンに分け、ゾーン毎の魅力・特徴や高島平らしさに考慮しながら順次再整備を行っていく。

第5章 再整備方針の実現に向けて

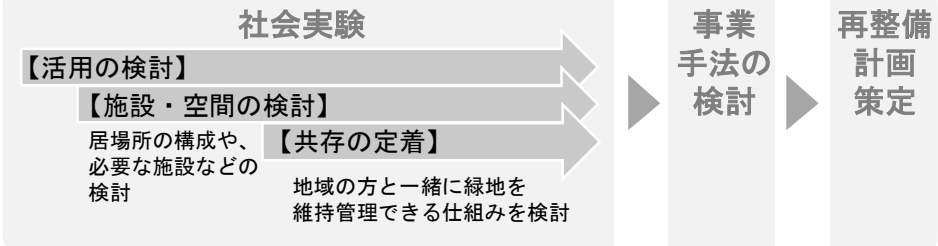
令和7年度から8年度にかけて、「三田線高架沿いゾーン（高島平九丁目地区）」をリーディングプロジェクトとして位置づけ、本方針を踏まえた様々な社会実験実施を通じて緑地の「活用」可能性を実践的に探りながら、地域住民や事業者など様々な主体の利活用のニーズに素早く応えられる再整備計画を策定する。

令和9年度以降、三田線高架沿いゾーン再整備を行ったうえで、他のゾーンについても、まちづくりの進捗を見据えながら本方針を踏まえて再整備を進めていく。

再整備方針策定【高島平緑地（全体）】

R6 高島平緑地（全体）の再整備方針を決定

社会実験～再整備計画策定【三田線高架沿いゾーン】



再整備開始【三田線高架沿いゾーン】

R9以降 再整備事業者 公募・決定※ → 設計・施工 → 維持管理・運営

※Park-PFI、DBOなど、公民連携による整備・管理運営を行う場合

運用開始【三田線高架沿いゾーン】

R11以降 「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所」の実現
三田線高架沿いゾーンから運用を開始し、他ゾーンも再整備計画を繰り返す



高島平九丁目地区
将来イメージ